



今月の題字
こういちろう
中村 紘一郎 君
(豊間根小5年)

町のわだい

放課後児童クラブの交流会 おもちゃ作りの楽しさ学ぶ

3月8日、町放課後児童クラブの交流会が開かれました。県立児童館「いわてこどもの森」(一戸町)が主催する地域巡回事業の一環として行われたもので、会場となった町中央コミュニティセンターには放課後児童クラブの児童27人が参加しました。参加した児童はいわてこどもの森職員の指導を受けながら「どんぶりカー」や「けん玉」など4種類のおもちゃ作りに挑戦。けん玉作りでは、紙を円すい型に丸めたものにプラスチックのカプセルとゴムをつなげて好きな模様を描くなど、おもちゃ作りの楽しさを学んでいました。



県選抜野球に山田中3人出場 本県チームが準優勝に輝く

第7回東北中学校選抜野球大会に山田中3年の山崎有貴君と阿部優紀君、佐々木康仁君の3人が本県選抜として出場しました。大会は3月15日と16日に仙台市で開催され、東北各県から8チームが参加。本県チームは初戦から順調に勝ち進み、決勝で秋田県選抜と対戦。結果、惜しくも敗れましたが、見事準優勝に輝きました。各県の選抜チームと対戦し、高レベルの試合を肌で感じた3人。山崎君は「意識を高めてこれからの練習に取り組みたい」、阿部君は「全国で通用するピッチングを目指したい」、佐々木君は「大会で学んだことをチームに伝え、全国レベルを目標に頑張りたい」と意欲を燃やしていました。



本県選抜チームとして出場した皆さん。写真左から山崎有貴君、阿部優紀君、佐々木康仁君

山田高吹奏楽部が訪問演奏会 園児と音楽通じた触れ合い

3月8日、山田高校吹奏楽部(佐々木舞子部長・部員19人)が中央保育園を訪れ、演奏会を行いました。部員の技術向上を兼ねて毎年町内の保育園や老人保健施設などで開催しているもので、この日は部員19人が同園を訪問。楽器の紹介やハンドベルの演奏に続いて童謡メドレーや人気テレビアニメの主題歌などが演奏され、園児たちは手拍子を打ったり、曲に合わせて歌ったりしていました。このほか、園児と部員との合奏も行われ、園児たちが部員の奏でる曲のリズムに合わせてカスタネットや鈴を鳴らすなど、一緒になって音楽を通じた触れ合いを楽しんでいました。

全国小・中学校新聞コンクール 大沢小「海よ光れ」が全国3位

毎日新聞社などが主催する第57回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで、大沢小学校(佐々木由美子校長・児童154人)児童会執行部が制作する学校新聞「海よ光れ」が毎日新聞社賞を受賞しました。同コンクールの小学・学校新聞の部には全国から1,086点の応募があり、大沢小は平成19年4月から12月発行分を出品。審査の結果、同紙は全国3位となる毎日新聞社賞に輝きました。前児童会長の福士泰佳さん(6年・現山田中1年)は「2年連続で入賞はできないと思っていたので、とても驚きました。うれしかったです。中学校でも新聞づくりをやってみたい」と受賞の喜びを話していました。



県の「地球温暖化を防ごう隊」 船越小が県知事表彰受ける

3月12日、県が実施する「地球温暖化を防ごう隊」で船越小学校(佐藤健三校長・児童205人)の取り組みに対し、県知事表彰が贈られました。これは子供たちに環境について考えてもらおうと実施されているもので、同校では5・6年生68人が夏休みと冬休みの間に1週間ずつ電気の節約やマイバッグ運動などに取り組みました。佐々木かな子さん=写真左=と大畑憂依さん(ともに6年・現山田中1年)は「身近なことでも地球温暖化の防止につながることが分かりました。中学生になっても続けていこうと思います」と話していました。

大沢出身 鈴木さんの卒業制作映画上映会 三鉄とともに暮らす人々の姿描く

本町大沢出身で日本映画学校映像科(神奈川県川崎市)3年の鈴木宏子さん(21)らが卒業制作で作ったビデオ映画「おらほの鉄道～三鉄沿線奮闘記～」が完成し、3月13日に上映会が行われました。会場となったふるさとセンターには60人が来場。上映に先立ち鈴木さんが「地元の皆さんの協力のおかげで、この映画を完成することができ、大変感謝しています」とあいさつしました。この映画は三陸鉄道をテーマとし、沿線で暮らす人々の様子や同鉄道にける地域住民の思いを伝えた約45分の作品となっています。上映が終わると、来場者からは「三陸鉄道の大切さを見直すきっかけになった」と惜しい拍手が送られていました。



ふるさとセンターで行われた上映会の様子(上写真)／写真左から撮影・録音担当した西信好真さん、企画・演出を担当した鈴木宏子さん、音楽を担当した松山レオさん

